

発話の非流暢性への学際的アプローチ：会話分析の立場から

2023.6.10 関西言語学会第48回大会 遠藤智子 (東京大学)

0

会話分析

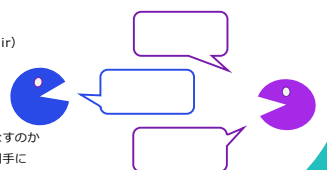
- 会話分析：1960年代から、社会学者H. Sacks, E.A. Schegloff, G. Jeffersonを中心に構築された、**実際の会話**の詳細な分析を通じて社会的相互行為の秩序を明らかにする研究枠組み (Schegloff 2007; Sidnell 2010; Clift 2016)
- 2000年代以降は相互行為言語学も 発展 (Couper-Kuhlen & Selting 2017等)
- 会話をすることで参加者は**社会的行為**を行う
- 発話は参加者たちによって**協働的に産出**される

※「言葉に意味を詰め込み」「導管を通じてアイデアを移送する」のではない
相手の反応を常にモニターして発話の形を変えるダンスのようなもの

1

会話分析の立場から発話を見るときに気にすること

- **位置 position**
 - 会話全体における位置
 - 隣接ペア (adjacency pair) における位置
- **行為 action**
 - 発話をする中で何をなすのか
 - 何者として、どう相手へ



2

それぞれの位置で生じうる問題

- 第1成分 (FPP) 産出時におこりうる問題：
 - 発話の組み立て・言語化の難しさ**
 - 調音のトラブル・想起のトラブル
 - 認知的権利の問題
 - デリケートな話題についての言語化 etc.
 - ★ 様々な要因が非流暢な発話産出に関わる
 - ★ 非流暢な発話産出が聞き手の反応を引き出す
- 第2成分 (SPP) 産出時におこりうる問題：選好性

3

**同一ターンにおける自己修復：
調音または想起の問題**

(1) [ジャクチュウ] <EJC T001_014>
(この前、奥村が美術館に行くのが結構好きだという発言をしている)

01 師匠：自分 **あれ** 行ったのよ。
02 奥村：あれどこですか？
03 師匠：**あの::あれ**。
04 (0.5)
05 師匠：**スーと (0.6) ジャー ジャク ジャク**。
06 [ジャク ジャク:: [ジャクチョウhhナ- ジャクチョウチャウ ジャクチュウ]
06 広瀬：[[((喉))]] [[(むせる)]]
07 奥村：>わかんないくどうゆうこと？

※聞き手はある程度は発話せず待つが、最後まで待つとはかぎらない

4

想起のトラブル：自問発話と一緒に思い出す誘い

(2) [ステイブン・キング] (ホラー小説について話している)

01 芳樹：↑ **あれ**もあんまり怖くなさそうじゃない、**最近のあの有名な**。
02 **hh** あの::: は- あ: **れなんだっけ**、(;) **よく映画になるひと**。
03 美沙：誰？
04 芳樹：シドニーシェルダンじゃなくて[**なんだっけ**]
05 美沙： [あー:::] えっと:: (；) ジョン・(；)グリシャム？
06 (；)
07 芳樹：じゃないよ:: え**恐怖映画ばかり** (録ってるあの) **人だよ**
08 美沙：あー **ステイブン・キング**。
09 芳樹：=そう、

聞き手によるトラブルの解決

自問発話 (Tian et al. 2017; Endo and Yokomori 2018, 2020)

5

情報のなわばり（認知的権利）：延伸による完結の遅延

(3) [高専] (最近は大学が保護者向けに就職ガイダンスをしているという話から、**早紀は自分の子どもの就職活動に際して親向けのガイダンスに出た覚えがないと語る**)

132 早紀: 親のガイ[ダンス]があったのか。
 133 成田: [だから(0.3)優秀なんだと思う。=
 134 早紀: =違うよ違うよそでもないよ普通だよ。と思うよ。
 135 成田: [いやー
 136 早紀: [>ってゆうか< (1.2) **学校のタイプ**が違うから?
 137 (0.6)
 138 一宮: **あ::高専:::[:だっけ**
 139 早紀: [**うん(い)うん**
 140 一宮: うん。

早紀がより語る権利を持つ内容
 前のターンが終わる前に反応を開始する
 「早い反応」

(early response, Deppermann et al. 2021. 認識性についてはHeritage 2012 a,b等)

6

情報のなわばり（認知的権利）：流暢な産出の回避

(4) [天神祭] (コロナのせいで花火大会がなくてさみしい、という話の後)

1 マサ: でもこないだ僕:::(.) **天神: なん-**
 2 **大阪来てすぐなんで>ちょっとわかんなくて<- 天神祭?**
 3 **天神[祭]かな?**
 4 アヤ: [はい
 5 (1.3)
 6 マサ: のなんか (0.4)音だけ (0.6) して:
 7 [あ: ほんとはあったんだな: と思っ[て:
 8 アヤ: [え:: [あ:::

「天神祭」についてスムーズに語る権利がないという態度

7

難しさのある意見表明と非流暢な発話産出

(5) [ワクチン打たない派]

26 藤原: でもなんか最近テレビで**あの::2回(.)ワクチン(.)**打ったけど
 27 **(.)**かかったみた**(h)**いな
 28 矢田: ああ::: (0.5)まなんか重症化はしないみたいな[(.)感じ()]ですね
 29 藤原: [みたいな。
 30 矢田: なんかもあのへんはどうなんやらと思ひながらh heh
 31 藤原: **いや::** なんかね、>だから< 打たない派の子ども**(.)**ちよいちよい
 32 **(2.5) い::る::**んですけどまわりに **こう:: (1.0)**
 33 ああそうか: "みたいな"そこでこう若干なんか意見の相違が学生内でも:
 34 **(0.3)**
 35 矢田: あ::る:::
 36 藤原: ワクチン打たない派の人が**わり-**一定数いるんですよ

同世代に対する批判的立場の表明

8

第2のターンにおける非流暢性：非選別的応答

- 「招待」に対し、「受諾」は選別的…スムーズな産出となるが、「拒絶」は非選別的…開始の遅れ、フィラー、説明(言い訳)、etc.
- ほめ や からかい 等への応答では選別性が複雑になる

第一成分の行為 First-pair part action	第二成分の行為 Second-pair part action
呼びかけ summons	応答 answer
挨拶 greeting	挨拶 greeting
招待 invitation	受諾/拒絶 acceptance/declination
申し出 offer	受諾/拒絶 acceptance/declination
行為の要求 request for action	承諾/拒否 granting/denial
情報の要求 request for information	情報提供 informative answer
責め立て accusation	承認/拒否 admission/denial
別れの挨拶 farewell	別れの挨拶 farewell

- 非流暢性から**相手の選別性を考えること**ができる

Stivers 2013: 192

9

まとめ

- 今回は第一成分 (FPP) における非流暢性に着目した
- 発話の産出は様々な要因で非流暢になる
 調音・想起の問題 / 認識的権利の問題 / 態度表明の問題
何者として語るか・語ることで何をするか
- 非流暢な発話産出が聞き手の行動を促す
 ツッコミ / 問題解決 / 早い応答 / 理解の提示 etc.
協働的な会話の進行

10

おわりに

- 会話において、人は言葉(や身体)を用いて他者とともに行為をなす:
 言葉は単に「思考内容が形をとって外に出た」ものではない
- 会話における非流暢性を観察することで、
話し手にとって行為のスムーズな達成の妨げとなるものは何か
- 聞き手にとって産出途中の発話がどう理解されるのか**等を見ることができ

11

参考文献

- Clift, Rebecca. 2016. *Conversation Analysis*. Cambridge University Press.
- Couper-Kuhlen and Margret Selting. 2017. *Interactional Linguistics: Studying Language in Social Interaction*. Cambridge University Press.
- Deppermann, Arnulf, Lorenza Mondada, and Simona Pekarek Doehler. 2021. Early responses: An introduction. *Discourse Processes* 58(4): 293-307.
- Endo, Tomoko & Daisuke Yokomori. 2020. Self-addressed questions as fixed expressions for epistemic stance marking in Japanese conversation. In Ono, Tsuyoshi & Ritva Laury (eds.), *Fixed expression in interaction: Building language structure and social action*. Berlin: Mouton de Gruyter. pp.203-236.
- Endo, Tomoko & Daisuke Yokomori. 2018. Interactional functions of verbalizing troubles: Self-addressed questions in Japanese conversation. *Proceedings of 25th Japanese/Korean Linguistics*. Stanford: CSLI Publications. 327-339.

12

- Heritage, John. 2012a. Epistemics in action: Action formation and territories of knowledge. *Research on Language and Social Interaction* 45(1): 1-29.
- Heritage, John. 2012b. The epistemic engine: Sequence organization and territories of knowledge. *Research on Language and Social Interaction* 45(1) 30-52.
- Schegloff, Emanuel A. 2007. *Sequence Organization in Interaction: A Primer in Conversation Analysis*. Cambridge University Press.
- Sidnell, Jack. 2010. *Conversation Analysis: An Introduction*. Wiley-Blackwell.
- Stivers, Tanya. 2013. Chapter 10 Sequence organization. *The Handbook of Conversation Analysis*. Wiley-Blackwell.
- Tian, Ye, Takehiko Maruyama, and Jonathan Ginzburg. 2017. Self Addressed Questions and Filled Pauses: A Cross-linguistic Investigation. *Journal of Psycholinguistic Research* 46: 905-922.

13